

外部評価意見への対応方針(案)(城東区)【地域まちづくり関連】

【様式6】

番号	外部評価意見	対 応 方 針 (26 年度運営方針(案)に反映されている場合は、 その反映状況についても記載してください。)	対応方針の 分類 (※参照)
1	蒲生 4 丁目交差点付近などでは、自転車が混雑し、通行に危険な状態である。自転車のマナーが悪く、乗り方を指導すべきという意見や、放置自転車が通行の妨げになっているという意見などさまざまな意見をいただいた。	交差点周辺の安全確保について警察署に状況を伝え、警察署と連携して、運転ルールについての区広報紙、区HPによる注意喚起、交通安全教室の開催を行う。また、建設局と連携して放置自転車の撤去などに引き続き取り組む。	①
2	城北川の水質について、さまざまな意見をいただくとともに、寝屋川もきれいにしていく計画はないのかという意見をいただいた。	城北川の水質は非常に良くなっており、さまざまな水生生物を見ることができる。寝屋川については、大阪府の管理であるが、大阪府に状況を伝え、協力を依頼する。	①
3	花が少ない、公園や駅周辺に花を増やせば、明るくなる、鶴見緑地のように憩える場や散歩できる空間があるという意見や道路にごみが散在している、低木を植えてきれいな道路にという意見をいただいた。	26 年度運営方針（案）【戦略 3－2】において、城北川を、みんなが集い、憩える場所になるよう取組んでいく旨言及した。また、ボランティアの皆さんと協働で、種から育てる花づくり事業や城北川花いっぱいプロジェクトに取り組む。	①
4	女性や若い人たちが地域のまちづくりに参画しやすい仕組みづくりや、各種団体がネットワークを結んで、まちづくりに取り組むべきではないかという意見をいただいた。	26 年度運営方針（案）において、地域防災訓練への若年層の参加促進、地域福祉の担い手育成に向けた講座の開催、中間支援組織を活用した地域活動の担い手支援拡大、ツイッター等多様な媒体での情報発信などに言及し、取り組んでいく。	②

※ 対応方針の分類 ①：当年度において対応 ②：26 年度運営方針に反映または 26 年度に対応予定 ③：26 年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④：対応困難または対応不可 ⑤：その他

外部評価意見への対応方針(案)(城東区)【地域防災関連】

【様式6】

番号	外部評価意見	対 応 方 針 (26 年度運営方針(案)に反映されている場合は、 その反映状況についても記載してください。)	対応方針の 分類 (※参照)
1	災害時の要援護者の支援体制充実や防災訓練に際して地域と福祉施設など関係機関との連携。被災者の安否確認の具体的取組などの意見をいただいた。	26 年度区運営方針（案）の【戦略１－１】で、高齢者や障害者等の災害時要援護者の支援や福祉避難所への備蓄物資の配備や要援護者も参加した防災訓練の実施に言及するとともに、25 年度より、各校下に地域サポーターを配置し、災害時要援護者支援に取り組んでいる。	②
2	地域の防災体制を構築するにあたって、情報伝達のあり方や組織づくりなどの地域の役割、行政の役割について、様々な角度から意見がなされるとともに、改めて、人と人との絆が大切である旨、意見をいただいた。	26 年度区運営方針（案）の【戦略１－１】で、区地域防災計画の改定版作成について言及し、地域の役割、行政の役割を明確にしていく。また、【戦略４】で、地域の「つながり」、「絆」の大切さに言及し、豊かなコミュニティづくりに取り組んでいく。	②
3	津波震災対策として地域で民間中高層住宅と提携する事例や、女性会で防災についての勉強会に取り組んでいる事例、若い人の防災訓練の参加促進策など、地域の防災対策の取組が紹介され、意見がかわされた。	26 年度区運営方針（案）の【戦略１－１】で、地域の実情・特性をふまえた防災訓練に言及し、若年層の参加促進や地域での津波避難訓練支援などに、取り組んでいく。	①
4	防犯カメラによる抑止力の効果を高める方策や青色防犯パトロールの活用促進について、さまざまな意見をいただいた。	26 年度区運営方針（案）の【戦略１－２】で、街頭犯罪の発生する場所等の監視強化、地域防犯活動支援に言及し、防犯カメラの設置や青色パトロールの普及促進に向けた協力依頼などに取り組んでいく。	①

※ 対応方針の分類 ①：当年度において対応 ②：26 年度運営方針に反映または 26 年度に対応予定 ③：26 年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④：対応困難または対応不可 ⑤：その他

外部評価意見への対応方針(案)(城東区)【地域福祉関連】

【様式6】

番号	外部評価意見	対 応 方 針 (26 年度運営方針(案)に反映されている場合は、 その反映状況についても記載してください。)	対応方針の 分類 (※参照)
1	長生きできるまちをめざすべきという意見をいただき、大腸がん検診だけでなく、肺炎球菌対策、慢性腎臓病重症化余病や生活習慣病予防、いきいき百歳体操の地域での支援などさまざまな意見をいただいた。	26 年度区運営方針（案）の【経営課題 2】において、「健康寿命を延長する」旨言及するとともに、【戦略 2－2】でCOPD（慢性閉塞性肺疾患）啓発の取組、いきいき百歳体操の実施拠点の充実に言及した。なお、肺球菌対策については、予防接種法改正の動向を踏まえ、まず、市で対応を検討することとなる。	②
2	ソーシャルインクルージョン事業の必要性、孤独死が課題となっている現状、認知症など判断能力のない高齢者への対応、地域でなんでも相談できる体制づくり、老老介護の支援、社会福祉施設の虐待、アクションプランと地域活動協議会の関わり方など、地域福祉に関して、さまざまな意見をいただいた。	26 年度区運営方針（案）の【戦略 2－2】で、地域福祉支援員の全校下への配置、地域福祉システムの構築、アクションプランの推進、新たな地域福祉の担い手の育成、ライフライン事業者、医療・福祉機関等との連携に言及するとともに、「区地域福祉ビジョン」において、地域福祉支援員を入口とした包括支援センターの担当圏域で相談できる体制づくりに取り組む。	②
3	子育てできる環境の強化や相談体制の充実、待機児童の対策を考えてほしいという意見をいただいた。	26 年度区運営方針（案）の【戦略 2－2】で、子育て支援情報誌の配布拠点拡大、子育てサロン、子育て支援施設、地域の子育てサークルの活動支援に言及した。また、26 年度待機児童解消のため、認可保育所、認定子ども園の新設、保育ママ事業の開始により、入所枠を確保した。	①
4	高齢者や障がい者、子育て世帯などの移動手段の確保は大事であるという意見をいただいた。	区内の交通空白地域の課題について、平成 26 年 4 月に実施する路線再編において、交通局に対して地域サービス系バス路線の再編等の要望を行い、可能な限り対応できるよう取組んだ。	⑤
5	学力・体力向上や、不登校、いじめなど学校教育に関する意見、学校選択制導入にかかる地域との課題について意見をいただいた。	学校教育に関することは、教育委員会・学校の運営事項であることが多く、区政としての関与は難しいが、いただいた意見は、関係先に届けていきたい。学校選択制は実のあるものになるように努めていく。	⑤

※ 対応方針の分類 ①：当年度において対応 ②：26 年度運営方針に反映または 26 年度に対応予定 ③：26 年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④：対応困難または対応不可 ⑤：その他